

ここから始まる

COMMUNICATION MAGAZINE.

GET HEART

ゲットハート



2003.3



**特集 第8回日野川への想いを語る会が
開催されました!**

第8回日野川への想いを

第8回日野川への想いを語る会が、平成14年12月4日14時から会見町総合福祉センターいこい荘にて開催されました。当日は、1市7町1村、鳥取県河川砂防課、米子地方県土整備局、日野総合事務所県土整備局と国土交通省日野川工事事務所の会員が集まり、会で募集していた第5回日野川フォトコンテストの入賞者の発表及び表彰式、会見ふるさとガイドの会代表の岡田昌孫先生おか まさひこの「川は呼んでいる」と題しての特別講演、「子ども達と川」というテーマで意見交換を行いました。



第5回日野川フォトコンテスト 入賞者の発表及び表彰式

第5回日野川フォトコンテストは「ふるさとの川を見つめて・・・」というテーマにより募集していましたが、応募者数59名による116点の作品の中から、タイトル「日野川の幻想～川霧」で一般Aの部金賞を受賞された米子市すみ だ とし あきの角田敏明さんをはじめ28作品の入賞作品を発表し表彰が行われました。

審査委員長である写真家の矢藤益美さんから「日野川の魅力はまだたくさんあると思います。日野川の本流ばかりでなく支流にも見所はたくさんあると思いますので、探してみてください。」と講評をいただきました。

当日の会場の通路には全入賞作品が展示されており、みなさんの目を引いていました。



語る会が開催されました！

特別講演「川は呼んでいる」

講師である岡田昌孫先生は、古文書に見る水争いの記述の話などを交えながら会見町に古くから言い伝えられている伝承や風土について話され、むかし子供たちは、川遊びを通して、協力性や協調性、忍耐力、達成感を知らず知らずに身につけて成長していき、川は、生命の尊重というようなことを学ぶ場所だったと言われていました。

河川改修は、洪水を防ぎ、水を効率的に田畑に導いていくためには非常に大きな効果を表していると思うが、川幅が非常に狭く深くなっていて両岸はコンクリートブロックの切り立ったような護岸になっている状況が人間を川から遠ざけてしまった結果を生んだとも言われていました。我々住民運動の方でも川にもっともっと親しんでいき、そして川を利用するためにはきれいにすることが肝要で、努力したいことと思われています。



岡田先生は、最後に「私は小学校の教員でしたので、子ども達のために川という生活空間を早く取り戻してやりたいということを自らの少年時代を思い起こしながら強く感じているところです。」として講演を終了されました。

会員による意見交換

「子ども達と川」というテーマの中、各市町村の首長から川への想いを込めて熱心な意見が出されました。

- ・今の子ども達は川で遊ばない。自然環境、原っぱ文化を取り戻していただきたい。
- ・川でたくましく生きる力を養われるべきではないかと思っている。
- ・子孫のために、環境というものを現代人が理解をするべきではないかと思っている。

など。

このグループで何か一つ先を見越した取り組みを行うということでまとまりました。



第5回

日野川フォトコンテスト結果発表

「第5回日野川フォトコンテスト」の審査会が昨年11月5日に、入賞者の発表と表彰が昨年12月4日に行われました。今回の応募者数は59名、応募作品数は116点を数えました。多数ご応募いただき、誠にありがとうございました。

入賞作品は、2月24日～3月7日まで溝口町中央公民館、3月3日～3月14日に米子市役所玄関ロビー、3月10日～3月24日まで江府町公民館、会見町公民館で3月17日～3月29日で展示を予定するほか、本誌に掲載したり、河川に関する広報にも使用させていただき、できるだけ多くの皆さんに紹介していきたいと思っております。

今後も、引き続き実施していきますので、今回入賞を逃された方も再チャレンジしてみてください。また、応募されたことが無い方も是非一度挑戦してみてください。



一般Bの部入賞「川の猛者」 亀尾 茂範

一般	A	金賞	日野川の幻想～川霧	角田 敏明	鳥取県米子市
		銀賞	かまこしきの大目玉	久野 幸雄	鳥取県気高郡気高町
		銀賞	漁	山本 勝正	鳥取県米子市
		銀賞	挑戦	高橋 嘉三	鳥取県米子市
		銅賞	日南湖の水底	森本 康弘	鳥取県米子市
		銅賞	鼓動	大森 博	鳥取県米子市
		銅賞	橋と石	川嶋 六三郎	鳥取県境港市
		銅賞	新緑の滝	渡辺 学	鳥取県東郷郡温泉津町
		銅賞	清流日野川と若者	小谷 元伸	鳥取県日野郡江府町
		佳作	パズル	尾田 達雄	鳥取県米子市
		佳作	元気な清流	森本 陽子	鳥取県米子市
		佳作	仲良し兄弟	木村 定雄	鳥取県米子市
		入選	飛翔	石川 治郎	鳥取県倉吉市
一般	B	入選	オアシス	佐伯 範夫	鳥取県安来市
		入選	川の猛者	亀尾 茂範	鳥取県米子市
		入選	つかまえ・た!	橋谷 俊二	鳥取県日野郡江府町
		入選	イカダレース、ゴール間近	玉田 一雄	岡山県岡山市
		佳作	鉄人レースの朝	道下 信吾	鳥取県米子市
		佳作	初秋の輝き	池淵 和久	鳥取県米子市
		佳作	仲良し兄妹	長谷 徳子	鳥取県西伯郡日吉津村
		入選	少女たち	奥田 友美	鳥取県江府町
小・中学生		入選	撮影会	高橋 沙織	鳥取県米子市
		入選	日野川に現われた岩さかな	山下 智之	鳥取県米子市
		入選	水の王冠	林田 加奈江	鳥取県米子市
		入選	小さな秋見つけたー。	末 海 茜	鳥取県米子市
		佳作	日野川の秋	山内 かおり	鳥取県米子市
		佳作	日野川と日野橋	山崎 沙織	鳥取県米子市
		佳作	雑草	吉崎 文香	鳥取県米子市

川に親しむ

「環境保全のためのシートベルト」

「米子地区環境問題を考える企業懇話会」事務局長

むかい てつろう
向井 哲朗 さん（米子市彦名町）



向井 哲朗さん

企業の立場から鳥取県西部地域の環境を考えた取り組みをしていこうと、平成8年に「米子地区環境問題を考える企業懇話会」の設立に奔走し、事務局長として幅広く活躍する向井さん。現在では会員企業数27社、総勢8,765人の大きな組織となり、向井さんが勤務する工場をはじめ、日野川や中海などのそばに立地する企業も多数参加している。

活動内容は、企業と住民、行政、学校など地域が一体となって環境活動を行う「グラウンドワーク活動」が主体。皆生海岸や米子水鳥公園の清掃活動を毎年行うほか、昨年は子供たちが自然とふれ合うようにと彦名地区への「メダカ池」の設置に力を入れている。

向井さんが環境に関心を持ったのは、中学生のころ。生まれ育った彦名地区で、中海が赤潮に染まるのを目の当たりにしたのがきっかけだった。



海岸清掃



メダカ池

その後、仕事のかたわら地域で地道かつ様々な環境活動を行い、平成2年には地域の小学生による「チビッ子環境パトロール隊」を組織。子供たちに体験型環境学習の実践指導をはじめている。その中で使用済みの割りばしを回収して紙にする運動を発案。これが身近なことから誰でも出来る環境運動ということで、またたく間に全国へと広がっていった。平成11年には『グラウンドワークで環境保全を目指す』の論文で内閣官房長官賞を、同13年には『割りばしリサイクル運動』で環境省より環境大臣賞を受賞。昨年は「秋の園遊会」にも招待されている。

向井さんは「賞よりも川や海がきれいになるほうが大切」と笑いながら、「環境問題はライフワークです」と力強く語る。そして「環境活動は、環境保全のためのシートベルトのようなもの」と説明する。大きなけが（環境破壊）につながらないように誰でもが「背伸びをせずにできるから」との例えだ。

そして、私たち地域住民は常に環境に対して加害者意識を持って対処する事を念頭に「暮らしの中で誰でもできる環境対策」として次の事の実践の呼びかけをしている。

家庭生活排水を出さない工夫・努力をする

- 食べ物は必要な分だけ作り、残さないようにする。
- 米のとぎ汁や牛乳、ジュース、ビール等飲んだ後のコップの洗いは庭木に還元する。
- 台所の三角コーナーや流し台の籠には、ろ過袋・廃パンストを取り付ける。
- 汚れのひどい食器・なべ類は、ぼろ布やちり紙等で拭いてから洗う。
- 廃てんぷら油はポリタンクに回収して製紙工場の燃料に。
- 風呂の水は温かいうちに洗濯水として再利用を。
- 物を大切に。4R「リデュース（減らす）、リフューズ（断る）、リユース（再利用）、リサイクル（再生）」を皆が実践する。

「環境対策は身近なことから」。向井さんの思いは家庭や企業に、そして地域と全国へと確実な広がりを見せている。

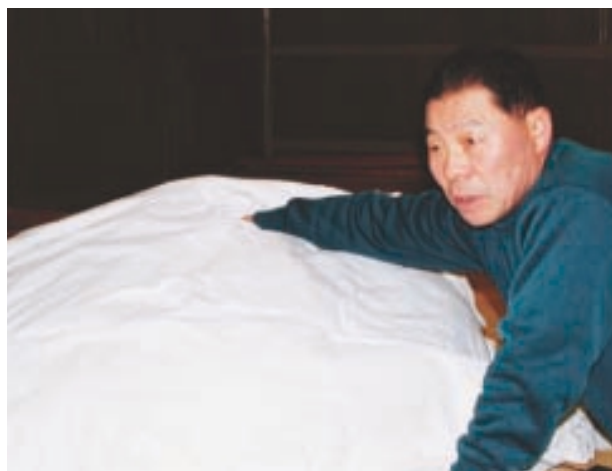
「名水と地酒」

昔から良い米作りに欠かせないのは、寒暖の差が大きく、良い土壌、そして良い水と言われています。そんな地域の一つに日野郡江府町があります。ここにはご存じのとおり、大山のブナ林から湧き出た伏流水を利用して商品開発を行い全国に名水として販売している「奥大山の水」もあります。

「奥大山の水」は、さらりとして飲みやすい口当たりが人気で、そのままはもちろんお茶やコーヒー、水割り、炊飯にと幅広く利用されています。料理では素材本来の風味をいっそう引き立てるといった評判です。

そんな、「名水」の魅力や環境に地元・江府町の酒造会社も注目しました。大岩酒造本店の「地酒 岩泉」です。これは「奥大山の水」を酒造りの時に味を左右する“仕込み水”に使っており、本醸造・純米酒・にごり原酒などの味わいが楽しめる文字どおりのふるさとのお酒です。

同社の歴史は古く、明治10年に開業。一貫して出雲杜氏による手で地場産米を用いて製造し、平成3年には、「奥大山の水」の商品開発にも携わっています。「奥大山の水」を醸造時に“仕込み水”として使用したのは平成6年から。奥大山の水の開発には、無菌にするための酒と違った苦労



出雲杜氏の村松 保さん

があったようです。

酒造りに関しては、米にもこだわりを持ち一貫して地場産米を使い、酒米として有名な“山田錦”などを地元農家と契約栽培を行い生産にあたっている。

出来上がった商品に関しても品質保持のため保存設備のない小売店には卸さないほどのこだわりようだ。

同社の大岩泰彦社長は、「以前日野郡内にも4社の酒造会社がありましたが、価格競争・杜氏・後継者問題などで、今は、郡内唯一の酒造会社となっています。しかし、これからも水と米にこだわっていく。地場のものしか使わない。良い水と良い土壌が米を作り、良い酒をつくる。行政とのタイアップによる商品開発も考え、地域の活性化にもつながりたい。」と話しています。

取材協力
有限会社大岩酒造本店
〒689-4401 日野郡江府町江尾1872
電話 0859-75-2404

もちみ
醪（酵母によるアルコール発酵）





第5回 日野川フォトコンテスト入賞作品 一般Aの部 「金賞」角田 敏明さん
日野川（八幡橋付近）

水辺のオッチング

- 表紙写真 「日野川の幻想～川霧」 -

水温と気温の差の大きい冬から春先にかけて、水面からまるで湯気が立っているように見える「川霧」。降雨の後、日野川八幡橋付近で川面に浮かぶ川霧を見つけた。立ち登る乳白色の水蒸気が日野川を優しく包み込んでいる。自然の織り成す感動の瞬間に思わずシャッターを切る。撮影できたのは5カット。幻想的な風景はほんの15分間の短いドラマだった。

日野川流域 ものいり手帳

日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・12

ダム放流警報設備 ほうりゅうけいほうせつび

ダムからの放流によって川の水位が急に上昇するおそれのあるときには、川原にいる方やこれから川へ入ろうとしている方に対して、事前に身の危険をお知らせし、また速やかな避難を呼びかける必要があります。このため、ダム下流の川に沿って放流警報設備が配置されています。

警報は、周辺の気象、ダム放流、川の状況などを速く確実に伝えるため、ダム管理者自らが行うサイレン、警報スピーカーによる放送、警報車両によるパトロール・放送、警報表示などや防災無線放送のよつに地元の協力を得て行われるものがあります。

日南町にある菅沢ダムを例に見てみましょう。洪水を調節するためにダムから放流された水は、印賀川から日野川本川へ合流し下流へと向かいます。菅沢ダムから日野町根雨に至る川沿いの8ヶ所にサイレンを鳴らしたり、スピーカーで放送する施設があります。サイレンは、風雨の中でも確実に聞こえるように、また時報や火災などと区別できるように、5秒間の休止をはさんで計5回鳴らされます。音がうるさいとか、何の音か、という話も耳にしますが、沿川住民の方や河川利用者などの身に、もしものことがないように行っているものです。

また、国道180号や川岸には、電光式のダム情報表示設備が目にとまります。サイレンなどの音だけでなく、目でも川の危険が、わかるような情報を表示するために設置されています。情報は、ダムの放流に関するものだけでなく、上流の雨や川の水位の状況などさまざま、文字や絵を交えてわかりやすく提供されます。雨が強くなり、川の増水が心配な時には、この表示板で状況を確認されるのも手でしょう。

おまけですが、インターネットパソコンやスマートフォンで携帯電話をお持ちの方ならどなたでも、日本全国の雨量や河川水位、ダム情報を知ることができます。キャンプや釣りなどにおでかけの際には役立ちますよ。

アドレス

パソコン → <http://www.river.go.jp/>

携帯電話 → <http://river.go.jp/>



ダム放流警報所（日野町中菅）



ダム情報表示設備（日野町福長）



イベントあんない



●岸本町

「岸本町立植田正治写真美術館企画展」

平成15年4月26日(土)～平成15年7月13日(日)

概要.....植田正治氏の「セルフポートレート」「小さい伝記」を中心に初期から晩年までの作品展示
(一般800円 高校・大学生500円
小・中学生300円)

問い合わせ先.....岸本町立植田正治写真美術館
TEL 0859 - 39 - 8000

●江府町

「冬の自然観察会」

平成15年3月21日(祝)

概要.....冬芽を探す観察会(予定)

問い合わせ先.....エパーランド奥大山

TEL 0859 - 77 - 2828

「毛無山山開き祭」

平成15年4月29日(祝)

概要.....山開き神事・登山

問い合わせ先.....江府町役場

TEL 0859 - 75 - 2211

●日野町

「鳥取県カヌー選手権大会」

平成15年4月20日(日) 予定

問い合わせ先.....鳥取県カヌー協会(林原)

TEL 0859 - 22 - 0433(夜)

「滝山公園つつじまつり」

平成15年4月中旬～5月上旬

問い合わせ先.....日野町商工会内日野町観光協会

TEL 0859 - 72 - 0280

●日吉津村

「第25回記念大会」

「日吉津村チューリップマラソン」

平成15年4月13日(日)

概要.....1km、3km、5km、10kmの各コースに分かれて走る健康マラソン。

問い合わせ先.....日吉津村中央公民館

TEL 0859 - 27 - 0606

「第12回24時間リレーマラソンin米子大会」

平成15年5月10日(土)正午～11日(日)正午

概要.....1周2kmのコースを6人1チーム24時間で何周走れるかを競う。また、24時間を通して選手同士の親睦を図る。

問い合わせ先.....24時間リレーマラソン

in 米子大会事務局(荻原 敏)

TEL 0859 - 32 - 1307(夜8時以降)

前号(No.21)の表紙写真の作品名に誤りがありました。

正しくは、鴛鴦群翔(えんおうぐんしょう)です。訂正してお詫び致します。

編集後記

「怖い川」「頼もしい川」「優しい川」これらの顔を持つ日野川と上手につきあい、その情報や想いを発信していく「GET HEART」は皆さんに興味深く読んで頂いているでしょうか?事務局だけで作成したら地域のものにならないと思い、出来るだけみなさんの手を借りながらつくるように作成面で心がけています。今回は日吉津村役場、江府町役場の皆さんに手伝っていただきました。

また、前号の「出雲街道をゆく“間地峠”」について境港市の方から更に詳しく情報を頂きました。紙面の都合上、掲載は出来ませんが間地峠での昔がしのばれる話、ありがとうございました。GET HEART編集事務局では皆さんからのおたよりをお待ちしていますので宜しくお願いします。

犬山 正

あなたのこころを

GET HEART

GET HEART 第22号

発行

・日野川への想いを語る会

編集事務局

・国土交通省日野川工事事務所

〒689-3537

米子市古豊千678

TEL (0859)27-5484

川・ふれあいホール コーナー

菅沢ダムの資料展示室「川・ふれあいホール」の展示内容をご紹介します。
～4月中旬

「日野川・法勝寺川の河川絵図と
航空写真パネル展示」

4月中旬～5月下旬

「日野川・米子近傍スケッチ画展」(予定)

一般の方の作品展にもご利用頂けます。
詳しいことは編集事務局までお問い合わせ下さい。

「川」について、
意見、質問、要望、
何でもええけ、便
りほしい。待つ
ちようけんね。

